

# コーヒーカスで育てたコーヒー苗木、 陽当たり実験報告!



皆様、こんにちは。その後コーヒー苗木の様子はいかがでしょうか?今回、これまで寄せられたご質問の中で特に多かった”陽当たり”について、CGGが地植えしている苗木を例にお伝えしたいと思います!苗木は1月22日に地植えを開始した①~③、3月20日開始のジフィーポット④の4つです。植え付けから約4ヶ月が経ち、最近それぞれ違いがはっきりして来ました。

## おはようからお休みまで、太陽燦々グループ



黄緑色の苗木を見た事がありますが、こちらの色は黄色に近く、日焼けによるものと思われます。

## おはようの後はずっと日陰、軒先グループ



③は根元付近が枝分かれしていて、新しい葉の枚数も多いです。  
④は2ヶ月遅れて移植。周りの土は根の張りにくいと思われる赤土ですが順調に成長しています。

## 育てているのはこんな場所



コーヒーノキ栽培は”まだらの陽当たりで”と良く聞きますが、具体的なコトが知りたくて始めたのが陽当たり実験です。

場所は、一日中陽の当たる部分と朝陽以外は日陰の軒先に分かれているベランダ植え込みです。軒先部分は植物の根付きが非常に悪く、常に土が露わになっていることからコーヒー堆肥の土壌改良効果についても観察しています。土質は赤土です。

両グループを見比べてまず目に付くのは葉色の違いです。厚みにはそれほど差はないものの、軒先グループは枝や葉の数が多く、今後の成長に差が出る予感がします。どちらも植える際に、ジフィーポットの中身と同じくコーヒー堆肥と培養土を1対1で混ぜたものを使ったのみで、追肥は行っていません。

水遣りはできるだけ1日1~2回/午前中と土が乾いている時は夕方も。水溜まりが出来るくらいたっぷりと与えています。

冬場に関しては沖縄情報のみとなりますが、快適だなあと感じるくらいの気温で、かつ明るい場所であれば室内でも育ちました。コーヒーノキは10度以下は苦手ですので、地域により地植えと鉢植えの選択をされると良いのではと思います。

**まとめとして・・・直射日光当てすぎ注意! 水遣りはたっぷりと! 明るく暖かな場所で育てよう!**

いかがでしたか?簡単なレポートではありますが、少しでも解決の糸口になれば幸いです。

まだまだお家時間が続く中、コーヒー苗木が皆様の癒やしとなりますことを願って。

~1本の苗木に祈りを込めて~

おまけ

CGGのジフィーポットは株式会社サカタのタネ製。気になるのは同じ形状の100均のもの。近々何か育ててみようと思っています。(TS)